

平成28年度 岡山県地域ぐるみで「体験の風をおこそう」運動推進事業  
＜体験の風をおこそう」推進月間事業＞

チアフルデー～吉備の森感謝でえ～

1. 事業の目的（趣旨・ねらい）

親子で自然体験活動を楽しむことで、親子のふれあいの大切さを感じたり、他の家族との交流を深めたりすることをねらいとする。

子供の健やかな成長に体験がいかに大切かを広く発信し、社会全体で体験活動を推進する機運を高めることを目的とする。

2. 主催

岡山県地域ぐるみで「体験の風をおこそう」運動推進実行委員会  
独立行政法人国立西洋年教育振興機構 国立吉備青少年自然の家

3. 事業の概要

（1）期日

平成28年10月30日（日） 日帰り

（2）参加者

① 募集対象

一般（幼児から大人まで） 800名

② 参加者

907名

（3）講師等

遊木皆（ツリーイング）	4名
岡山県シェアリングネイチャー協会	2名
岡山県青少年教育センター閑谷学校	3名
岡山県立勝山高等学校	1名
倉敷科学センター星のネットワーク	2名
三菱化学株式会社水島事業所 総務部総務人事グループ	5名
めだかの学校	2名
日本ボーイスカウト岡山連盟	2名
国立吉備青少年自然の家 施設ボランティア	23名

（4）企画・運営のポイント

- ① 「体験の風をおこそう」運動推進月間事業として遊びリンピックを組み込み、「スリッパとぼし」、「親子ピョンピョン」、「羽子板ラリー」の3種目を行った。
- ② 出店ブースの入店数を拡大し、さまざまなクラフト体験ができるようにした。
- ③ 別事業「吉備の森自然体験会」との連携を図り、事業参加者がチアフルデーにスムーズに参加できるように計画を立て、広報を行った。

- ④ ステージ発表について「かよう浪漫太鼓」「吉備中央児童合唱団」など地域で活躍している団体に出演してもらった。

#### 4. 活動の内容等

##### (1) 日程

活 動 名	時 間	内 容	備 考
カッター活動	①10:00～11:30 ②13:00～14:30	鳴滝湖でカッター体験	各回先着80人 小学生以上 ※小学3年生までは保護者同伴
吉備の森自然探検隊		吉備の森の自然を楽しむ	各回先着40人
ツリーイング	①10:00～11:30 ②12:30～14:00	ロープを使って木登り（参加者は長ズボン、スニーカーでお越しください。）	各回先着20人 小学生以上が対象 保険代（150円）
ウォーキング	9:30～14:30 （事前申し込み不要）	吉備の森を歩き自然とふれあおう！	雨天中止
森のスタジアム		アスレチック	雨天中止
カブラ（積み木） おり紙アート		21,000ピースのカブラや折り紙でアート体験！	
おもしろ自転車	9:30～12:00 13:00～14:30 （15分交代制）	変わった乗り物がいっぱい！ どうやったら動くか考えてみよう！	小学2年生以下が対象
木のキーホルダーづくり 紙ブーメランづくり 傘袋ロケットづくり	9:30～12:00 13:00～14:30	世界に一つのキーホルダーをつくろう！ ブーメランはどうやったらもどってくるのだろう。 ロケットを遠くに飛ばそう！	
岡山県立勝山高等学校 倉敷科学センター 三菱化学株式会社 めだかの学校	10:00～15:00	練り香水をつくろう 星座早見盤をつくろう プラ板キーホルダーづくり 巣箱づくり 竹細工 紙コプター	
ボーイスカウト岡山連盟			
遊びリンピック	9:30～12:00 13:00～14:30	各種目上位3人にはメダルと賞状があるぞ！	
閑谷学校ブース	14:30～15:30	吉備で閑谷学校が体験できるよ！この機会にぜひ！	材料代150円
ステージ		ステージ発表やハズレなしの抽選会があるよ！みんな集まれ！	
昼食バイキング	11:30～13:30	自然の家のおいしいバイキングをご賞味あれ！	昼食代500円 ※4歳未満は無料

##### (2) 活動の状況



【受付】



【中の広場の様子】



【カッター活動】



【ツリーイング】



【紙ブーメランづくり】



【傘袋ロケットづくり】



【おもしろ自転車】



【遊びリンピック】



【吉備の森自然探検隊】



【練り香水作り】



【ステージ発表】



【抽選会】

## 5. 成果・課題

### (1) 成果

- ① 出展ブーススペースを増やし、さまざまな企業・個人とタイアップすることで、来場者が取捨選択しながら体験できる場を提供することができた。
- ② 前日の事業「吉備の森自然体験会」と連携して広報展開することを通して、同事業参加者に宿泊して引き続きチアフルデーに参加可能なものとした。
- ③ 来場者への負担がないよう、近隣施設に協力を依頼して駐車場を増加させた。距離のある駐車スペースには送迎バスを手配し、より多くの方が参加しやすい環境を整えた。
- ④ 多くの家族連れ来場者が所内を巡り、複数の活動を体験することでイベント開始から終了まで1日中滞在し、好評を得た。また、体験活動や展示コーナーを充実させることにより、当所の利用方法や提供している活動プログラムに加え、展開中の岡山県地域ぐるみで「体験の風をおこそう」運動の普及啓発も推進した。
- ⑤ 近隣の企業に寄附金を募り、自己収入を得ることで抽選会を実施することがで

きた。

## (2) 今後の課題

- ① 事前予約の必要なアクティビティについて、申込み開始日を設けたことなどから申込みの電話が集中し、処理の正確さを保てなかった。開始日のスタッフ配置、処理にスプレッドシートを使用するなど、タイムリーに多くの情報を共有するシステムが必要である。
- ② 抽選会終了後の退所者がバス乗り場に集中した。来所時は家族単位など小規模単位で到着するが、事業終了後は大勢が一度に退所するため、遠方の駐車場への送迎は余裕をもって配置する必要がある。

担当：企画指導専門職付主任 黒田 雅秀